

【分野名：社会科学】

大 学 名	東京大学
拠点のプログラム名称	市場経済と非市場機構との連関研究拠点
中核となる専攻等名	大学院経済学研究科経済理論専攻
拠点リーダー氏名	吉川 洋

現在、グローバル化の名の下に全世界を覆いつつある市場経済は、国家という最大の非市場的組織だけでなく、その国家の枠組みの中に困り込まれてきた様々な社会制度や行動規範との相克を引きおこし、グローバルな規模での非市場機構との関係の再調整を促している。翻って日本を見れば、「失われた10年」の中で旧来の日本型の経済社会システムがその耐用年数を終え、新たなシステムの構築が求められている。市場経済と非市場機構との連関メカニズムを読み解くことは、経済理論的にも政策的にも、国内的にも国際的にも、重要かつ緊急を要する課題である。そのためには、理論、計量、政策、歴史といった多様なアプローチによる総合的な研究拠点を形成し、内外の研究者との交流を通じて全世界に研究成果を発信するとともに、国内はもとより世界的な規模での政策形成への貢献が求められている。本拠点は、東京大学経済学研究科に、経済理論専攻を中核として、「市場経済と非市場機構との連関」に関する総合的研究プログラムを組織し、21世紀に求められる新たな社会科学の創造を目指す国際的な研究と教育の拠点を創設する、というものである。それによって、すでに世界水準の研究教育機関として認知されている本研究科を世界の中でも有数の研究者の交流の場とするとともに、世界をリードし続ける独創的な研究を発信する場とする。それは、日本にいながら世界のフロンティアの研究を直接吸収できる教育環境を整えることを意味し、「東京学派(Tokyo School)」と呼ばれるような世界最高水準の研究者の再生産の場にあることである。